



# Ｊ君 幸せ報告

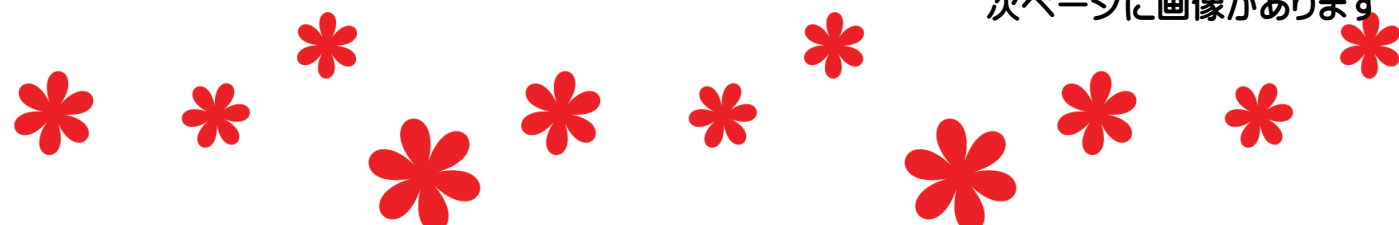
たくさんの皆様にご心配頂きました、高崎駅の負傷猫のＪ君についてお知らせします。

温かいご家族のもとですっかり落ち着いて暮らしています。  
お母さんにスリスリしたり、先住の猫ちゃんと遊んだりしながら、今では普通の家猫として安心して寛いで過ごしています。  
切断した左腕はすっかり傷が癒えました。

捕獲にはかなりの警戒心を見せていたＪ君ですが、新しいお宅ではハイペースで環境にも馴染んで行きました。  
Ｊ君のご家族は彼を丸ごと受け止め、少しずつ着実に信頼と愛情を育んでくださいました。  
これからＪ君は優しいご家族の元で、怖い思いをしたり逃げたり、物を投げつけられたりする事もなく  
ずっとずっと幸せに暮らしていきます。

皆様にお願ひがあります。  
お腹を空かせている猫に食事を与えるのは、人間として当たり前優しい気持ちだと思います。けれど、それが毎日になったり、公共の場であったりする場合には、必ず猫に対して責任を持ってください。  
多くの餌やりが、無責任な一時的な感情のみで猫に接している現実を、私どもは大変危惧し疑問に思います。  
一度関わった命には、何があっても最後まで責任を持ってください。  
その子が傷みや恐怖に晒される事が無いように、真剣に向き合ってください。  
よろしくお願ひいたします。

NPO 法人群馬わんにゃんネットワーク  
次ページに画像があります





捕獲前の様子



手術直後



保護宅での様子①



保護宅での様子②



新しいおうちでは  
のびのびと過ご  
しています!!



猫の友達も  
できましたよ♪

